

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム安城福釜の家
(ユニット名)	1号館
所在地 (県・市町村名)	〒455-0052 愛知県安城市福釜町里添56-3
記入者名 (管理者)	小澤 鈴子
記入日	平成 20年 7月 28日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自宅でもなく大規模な施設や病院でもない家族的な環境の中で、ゆったりとした生活、そしてなんらかの役割を持ちながら楽しく暮らしていける「第2の住まい」を目指しています。	<input type="radio"/> 自分宅のように生活して頂ければ最高だなあと 생각합니다。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記の理念がありますが、各館に色紙(利用者様が書いて下さった)「ゆっくり、一緒に楽しく」を見えるところに掲示してあります。	<input type="radio"/> 全員で朝、唱和したいと思っています。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族の方にはパンフレットを差し上げることによって、理解していただいていると思っておりますが、地域への浸透はまだです。	<input type="radio"/> 年1度行う夏祭りの案内に理念など印刷し、福釜町内会全戸に回覧しようと思っています。H21年8月夏祭りから。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外気浴などしている時に通りすがりの方に一緒にお話しをしませんかなど、声掛けする事があります。	<input type="radio"/> 地域の方がもっと来て下さるように積極的にアプローチしていきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会で行われる文化祭など見に行った事があります。神社のお祭りのもちひろいに行ったこともあります。	<input type="radio"/> 地域の老人会に出席できるように町内会の依頼できるようにしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方と交流したいと思っていますが、地域の方もデイサービスに行かれたり、ゲートボール他で忙しくしておられるので交流していない。	○	夏祭りなど、前日に声掛けすると来てくださる方もあります。色々な行事に声掛けして参加して下さるようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価をする事によって実施できていること、出来ていない事、しなくてはならない事が明確に提示されるので改善しやすいと思う。	○	改善できる事から取り組みたいと思っている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長、市役所職員、利用者様家族代表、民生員の方の参加を頂き、いろいろな意見がでるのでサービス向上につながって行くと思う。	○	頂いた意見を介護サービスの向上に役立てたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	書類等の提出時に状況報告をさせて頂いています。生保の方、認知の進み具合なども報告させていただくこともあります。	○	市役所で行われる会議などに積極的に参加し、他の意見も参考にしながら、サービス向上に取り組む。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者様の成年後見制度は今後、増々重要になってくると思います。もっと勉強しないといけないと思っています。	○	家族様と一緒に勉強して行かないとダメだと思っています。研修があったら参加したいです。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	インターネットなどでプリントアウトして資料として持っている、注意している。危険予防の時は家族の了解等、十分な配慮をしています。	○	全員が積極的に勉強をしなくてはならないと思っています。勉強会をしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、説明し書類をお渡し、家族でよく読んでいただける時間も作ります。分らない時は電話を下さり、説明させて頂いています。</p>	<p>○</p> <p>十分な時間をかけて説明させて納得していただけるようにもっと努力をして行きたいです。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時に苦情などの書類もお渡ししており、意見ありましたら私達の介護向上につながりますので苦情は言って下さいと説明しています。</p>	<p>○</p> <p>利用者様の為にだまっておられる事もあると思いますので、その心配はいらぬですと十分な説明をしたいです。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に状況報告、イベント情報、健康状態、生活全般の報告をしています。金銭管理では、家族の了解印が必要ですので提示しています。</p>	<p>○</p> <p>面会時ではなく、定期的に情報をお伝えできるものがあると良いと思っています。以後、新聞を作っていたのもう1度、やってみると良いと思っています。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見を頂ける雰囲気ではないようです。報告だけの情報ではなくもっと私達も情報提供させて頂くようにする。</p>	<p>○</p> <p>家族の方が意見を言うてくださる雰囲気作りを心掛けて常に耳を傾ける事ができるようにしたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的な職員会議はしているが、他に話し合う機会がない。</p>	<p>○</p> <p>職員会議・リーダー会・全体的なカンファレンスを実施し、意見が反映されるようにしたいと思っている。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員不足によるサービスの低下がないように互いに出来る事で調整している。</p>	<p>○</p> <p>求人募集をしているが、なかなか人が来ない状況になっています。幅広い求人活動をして行かなければならないと思っている。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>定期的な職員異動は行っている。異動時は前の館に遊びに行くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>職員もいろいろな勉強が必要になって来るので館を異動する事は定期的に行う計画を持っているが、急激な変化をしないように配慮している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A・B課程、及び年度に世っての課程受講することがある。年数によって研修への機会は与えられている。	○ 全員が受けられる研修に日程調整して参加できたら良いと思っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市役所で部会があり、同業者の交流があると良いと提案があったが、まだ実現されていないので是非、実行できたらサービス向上につながると思う。	○ 職員同志・利用者様の他同業者の交流が出来る様と市役所にもっと働きかけて行きたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	人それぞれのストレス解消法があると思っている。持ちよって工夫や環境整備したいと思っているができていない。	カラオケなど、いろいろな解消法があると思うのでそれぞれで解消していただいているのが現状です。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修等の案内を提示しているが、費用・時間で調整できず研修は行っていない。(民間研修)	○ 全員が研修に参加することができるようにしたい。(日程を分散して)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人が見学に来られた時に直接お話を聞くようにしていますが、緊張されあまり本音は言われません。入居後、お聞きすることはあります。	○ 利用者様にお聞きする事が良い介護をするための基本であると思っていますので、耳をすませて聞く機会をつくる。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	時間を取り、十分に伺うようにしています。努力もしています。	○ 話しづらいこともあると思いますので個室にてお話をさせていただく事もあります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様・家族の方が一番必要なことは、何かそのためにはどんな支援をしたら良いかを考えています。		一番必要な支援が出来る体制作り、職員の配置など環境作り。安心して暮らしていただけるように努力する。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居され2週間ほどは1対1の対応になり、色々な情報を職員・家族が持ちより利用者を知る事を工夫しています。	○	職員が同じ方向を向いてサービスの提供する事によって利用者が安心して下さると思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	喜怒哀楽が出る介護が出来るように共に生活できる関係になるように努力する。	○	一方的な介護ではなく、相互に共に支えあえる関係を時間をかけて築いていく。
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方の協力無しではやっていけないので家族の方にも助けていただいています。	○	利用者様・家族様・職員が支援し、されながら良い三角関係を築いていくためにみんなで楽しく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	最初の支援ではなく、どんどん変化する支援に対応出来るように要求・要望を定期的に確認する。		十分な交流が出来るように居室にてお話をうかがいサービス向上につなげる。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者・家族・職員が交流できるように他館交流も出来る。	○	全館が一つであると意識改革をし、全員で支援する。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	喜怒哀楽が出せる介護を目指す以上、喧嘩などもありますので職員が上手に中に入るようにしています。	○	利用者同士が共に支え合っておかれる姿をよく目にします。この関係を保つように努力しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養などに行かれた方を面会に行ったりしています。また、家族にその後の状況をお伺いする事もあります。	○	家族の方よりお手紙をいただく事もあります。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	症状的に進行具合によってサービスの変更をケアカンファレンス検討し、家族にも相談の上、決定している。	○	より細かい部分までの検討をし、御本人が一番良いケアができるようにした。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の情報を基に好きなことを取り入れながら、暮らし(日常生活)が出来るように把握に努めている。	○	生活暦を把握し、以前の暮らしぶりができたら良いと思う。昔の事は、覚えておられるので耳を傾けたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現状維持を目的にし、一日の過ごし方を検討している。		一人一人に合った一日を過ごして頂きたいと努力しているが、テレビを観ておられる事が多々。もっとレクをしたいと思っている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	認定後など定期的にケアカンファをし、一人ひとりに合った介護計画について検討している。今頃の状況・状況に合ったサービスを提供できるようにしている。	○	ケアカンファに家族も参加して頂けたらより良いサービス提供をすることができるのではないかと検討している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した計画の見直しをケアマネ計画立案者を含めた担当者会議をする。	○	ケアマネを中心にした組織作り。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテには見たまま、言われた言葉などを記録し、カルテを共有しながらケアカンファレンスの基本となり計画の見直しに活かしている。	○	カルテには日常生活を記録し、事実しか記入しませんのでいろいろな物の基本になるので大切に扱っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じた対応(支援)ができるようにしていると思うが、多機能性はないと思う。		場面に対応(支援)ができるように柔軟性を持ちたいと思っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会の文化祭に行ったことはあるが、作品などを出した事がない。	○	利用者様が作ってくださった切り絵、はり絵を福祉会館で展示して下さるとお話があるがまだ実現していない。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特養を希望されている家族様と共に地域のケアマネジャーを訪問、相談させていただいた。	○	地域のケアマネジャーさんと相談できる体制を作りたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターに営業に行き情報収集させて頂いています。入居相談が多くあります。	○	もっと協力し合える関係を築いていきたい。太いパイプ作り。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族受診の利用者様・往診により定期的受診・・・両立できています。	○	往診受診により職員が先生に相談できる体制ができつつある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	一部の利用者様が家族受診等で受診されている。	○	現在、往診して下さっている先生は認知症については詳しいので安心して相談している。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員は常勤・非常勤も勤務者はなし。	○	看護職員がいてくれたら良いなあと思っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先のケアマネさんと連絡をさせて頂いており、退院時のサポートをして下さっています。	○	連携体制が早くできたら良いと思っています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から出来ず、後手に回っている状況にあります。		家族の思い、施設の思い、職員の思いもあり、早い段階からの検討会議を取り組んで行きたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	チームでの支援体制はない。事業所の見極めの困難がある。終末期のケアまで考えたことがなく、今後の課題になると思う。	○	今後の変化に対応出来るチーム作りをしていく必要があると思う。今後の大きな課題だと思う。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	日常生活サマリーを送って情報交換をしている。		環境の変化について行ける様に事前に情報のやり取りをし、変化を少なくする努力をする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	家族の御理解により記録等の共有はしているが、他者にもらすことはない。大切に取り扱いをしている。	○ イニシャル記録、フルネームではなく苗字のみ、名前のみ に統一し保護。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定をして頂ける様な声掛け、説明をし納得されるがすぐに忘れてしまわれるので納得されたかは不明なこと多くあり。	○ 利用者の声に耳を傾け、できるだけ聞き出すようにしている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースに合わせて頂いている事が多いと思います。	○ 職員もゆとりを持って一人一人のペースを見守り合わせる 介護の徹底をする。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の方が決まった店に行かれる方もおられますが、大半の方は施設に来てくださる美容師さんに頼んでいます。	○ 馴染みの美容師さんですので、一人一人の髪型を知って おられるのでお話をしながらして下さっています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りの参加をお願いしますので準備から片づけまで職員と共にして下さいます。	○ 好き嫌いがある利用者様に工夫しながら食べて頂いて います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒・タバコ等を日常的に楽しめるように支援はしていません。	家族の方の希望により施設に入居する際、やめさせて下 さいと言われる方が多くあり楽しめる状況ではありません。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意便意がある事を大切に思って声掛けをさせて頂いたり、パターンに添った支援をしています。	○	放尿の回数を少なくできたら良いと考え、パターンの分析をし、誘導による排泄できるよう支援している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が多くなる間の時間帯になってしまっている。一人ひとりをお呼びするタイミングを工夫しています。	○	拒否がある方に対し、いろいろな声掛けの工夫・対応の仕方の工夫など入って頂くようにする。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ソファにてウトウトされておられる時は、ベットに横になられる事を促すことがあります。	○	昼寝をされる事がありますが、あまり寝過ぎないように注意しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分の居室の掃除・モップがけ・洗濯物の干し・取り込み・たたみ・調理の味付け・野菜の皮むき・散歩などできることは、何でもして頂いている。	○	買い物・外食時の選択・ぞうきんの縫い物できることを見つけて頂く様にする。サービス向上につなげる。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことの大切さを理解できているが、お金に執着があり、後で取られたと言われることがあり、職員が支払等をしている。	○	買い物・喫茶店に行く機会が多くあり、お金(小遣い)を使うことになるが、本人に支払をして頂きたいと思っている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・外出(外食)・外気浴など社協より車を借りて、少し遠出することもあります。	○	温泉などにみんなをお連れすることができればよいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	以前、ボーリングに行ったことがあり、皆様が喜んでボーリングをして下さいました。	○	家族と利用者様、職員で遠出できたらいいなあと計画を立てようかと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙など直さずに下にコメントを書き添えたりしています。	○	電話などは、時間帯に気遣いをします。電話にて話すことによって穏やかになれることがある為、心掛けています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問して下さる方に合う時の笑顔は素敵です。居室にてゆっくりとお話できるようにしています。	○	いろいろな干渉はせず、自由に会って頂く。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしたい職員はいません。	○	身体拘束のない(言葉も含め)介護を目指しています。もっと、勉強(研修)しなくてはいけないと思っています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠しています。帰宅願望強く、すきあらば外へ出ようとされていますので、危険予防のため。	○	帰宅願望時、外に出るのは危険です。途中、歩行困難になれる方が多々あります。車椅子を持っての歩行となります。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	外出届・外泊届用紙記入・家族受診などの把握をしています。	○	常に利用者様がどこにおられるのかの把握をしています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室内の環境整備をし、危険を予測しながら防ぐ取り組みをしている。		季節ごとに家族に持ってきていただいたり、持ち帰っていただいたりし、必要外の物は置かないようにしている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒後などの後の対処を早くできるようにしている。	○	一人ひとりの状態ではなく、全体的になっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	行っていないので、今後は早急に行いたいと思っています。	○	9月中に行いたいと思っています。地域の方にも参加していただけたら良いと思う。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方の助けがないと、利用者様を助けられないと思っているので、地域の防災訓練に参加しないと思っている。	○	地域の連携を深めて行かなければ助かることが困難になってきていることは、事実であり深く考えなければならぬ。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	大切なことであると思っているが、一人ひとりの対応策に止まっている。全体的に考えて対応策を作成しなければならないと思っている。		大きなマニュアルができ、家族の避難先まで分かる様になりたいと思っている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日中に病院受診するようにしています。申し送りをしっかりと速やかに対応している。	○	夜勤帯は、一人ですので日中に対応しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を頂き、副作用も把握している。処方箋通りの服用をしている。	○	錠剤服用が困難な場合、先生に相談し、許可を得てから服用方法も変えている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	バナナ・ヨーグルト・サツマイモなど、工夫しながら便秘が自然に出る方向へ誘導している。	○	便秘薬服用して頂いていますが、運動などしながら便秘が改善するように努力している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアをして頂けるように声掛けする。出来ない方はうがい薬を利用している。	○	義歯のケアも大切にしている。つけたままにしないように、寝られる前にポリデントにつけていただく習慣にしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量の把握をし、食べ過ぎないように状態・体重管理をしている。水分をこまめに取って頂いている。	○	年間を通して水分の摂取量に気をつけている。脱水症状に注意している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	集団生活をしているので、一人かかると感染しますので往診にて早目に対策をする。	○	手洗い・うがいの徹底を行い、予防につとめている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	一週に一度、全食器など、ハイター消毒しています。まな板は調理後、乾燥させる。		食洗機があれば良いと意見があります。熱湯消毒も・・・との意見があります。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にプランターに花を植えて季節感があるようにしています。	○	玄関ドアに「いらっしやいませ」の文字があり、入りやすくなっている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備に気をつけている。西日がきつい季節には早目にカーテンを閉めるようにしている。	○	時折、ドアが重くなってしまうことがあるが、本部より修理に来て下さるので助かっています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに談話されたりしておられ、居室にて過ごされたり自由気ままな生活をされている。	○	食事のときだけ、席は決まっているが、その他は自由にどこに座っても良いことになっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族の方に使い慣れたもの・着慣れたものをお願いしています。	○	昔から大切にしている物・見慣れた物を持ってきてくださっているので、居心地よく生活されている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝一番に全窓を開け、換気を行い温度調節・管理をしている。	○	エアコンの温度を一定にし、外気温と大きな差が出ないようにして季節感を大切にしています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行の妨げにならないように、また、転倒に繋がらないように物を出していません。	○	できるだけ手を貸さず一人ひとりが自由に動くことができるように物を置かない工夫をしている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	新聞など読んで頂いたり、絵を描いたりドリルをして頂いています。	○	新聞・絵・ドリル・カルタ取り・計算など出来る事を探してみんなでしたり、一人ひとりにして頂いています。
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関のプランターにて季節の花を植えて利用者様に水やりをして頂いています。	○	小さな畑があり、野菜を植えて収穫をして食べています。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/>	①毎日ある
	<input checked="" type="checkbox"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	③たまにある
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/>	②家族の2/3くらいと
	<input checked="" type="checkbox"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
		○	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)